

サザンクロス大学への協定校留学

Oct.

はじめに

10月になり、留学生活も残り1ヶ月となりました。10月中旬に約8ヶ月通ったサザンクロス大学の授業を終え、文芸大の親友と国外旅行へ行きました。残り1ヶ月ということもあり、やり残したことを最後に成し遂げる1ヶ月となりました。

ベトナム

サザンクロス大学での授業を終え、アルバイトで貯めたお金を使ってベトナム旅行に行くことにしました。現地では文芸大の友達と集合し、8ヶ月ぶりに再開しました。留学中は、日本での生活が羨ましくなり、ホームシックになったりすることもありました。だからこそ、久しぶりに親友に会えた時は本当に嬉しかったです。

パースへ旅行に行った時に、初めてフォーを食べました。その味がとても美味しく感動し、「本場のフォーを食べてみたい」と思ったことがきっかけで、ベトナム旅行を決めました。オーストラリアでは、「オーストラリア料理」と呼ばれる特別な料理はあまり多くありません。その代わりに、タイ料理やベトナム料理、メキシコ料理など、これまで日本ではありません食べる機会のなかった様々な国の料理を楽しむことができました。

また、オーストラリアは味の濃い食べ物が多いので、日本料理のような味の濃すぎない料理がとても恋しく感じました。





最後の 1 ヶ月



今月は、これまでにできなかったたくさんの新しい経験をすることができました。新しいハウスメイトに誘われて、初めてシュノーケリングに挑戦しました。水はとても冷たく感じましたが、オーストラリアの美しい海の中を探検てきて、とても楽しかったです。

また、現地の友達に誘われて、初めて「Oz Tag」の試合を見ました。ラグビーよりも優しいルールで、見ていてとても楽しいスポーツだと感じました。

さらに、ずっと行きたかったカフェにも足を運ぶことができ、美味しいコーヒーを味わいました。もっと早くにこの美味しいコーヒーに気付けていたらと少し後悔しました。

そして、大学の遠足にも参加し、念願だった Sunshine Coast を訪れることができました。遠足は定員が約 10 人と少なく、いつもすぐにチケットが売り切れてしまうので、今回は参加できて本当にラッキーでした。

Sunshine Coast では、1 時間ほどのハイキングを楽しんだ後、美しいビーチにも連れて行ってもらいました。



おわりに

オーストラリアでの9ヶ月間は、私にとってかけがえのない経験となりました。最初の頃は言葉の壁や文化の違いに戸惑うことも多く、思うように自分を表現できずに悩む日々もありました。しかし、現地の人々の温かさや、周りの友達に支えられ、少しづつ自信を持って行動できるようになりました。

さまざまな国籍や背景を持つ人たちと関わる中で、価値観の違いを受け入れる柔軟さと、相手を尊重する姿勢の大切さを学びました。違いを恐れるのではなく、理解し合おうとする姿勢が、真のコミュニケーションにつながるのだと感じました。

また、この9ヶ月で得た学びを、今後の人生でも生かしていきたいと思います。どんな環境でも臆せず挑戦し、人とのつながりを大切にしながら、自分の可能性を広げていけるように努力していきたいです。オーストラリアでの経験は、私にとって「挑戦」と「成長」の原点になりました。